

## 11 月 2 日(木曜日) ビートルズベッドの枠を新しくする

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、中

9名】



11 月に入ったというのに、日中は 25 度まで上がる予報であった。しかし、からっとした空気にそれほど暑さを感じず、気持ちよく作業をすることができた。

ビートルズベッドの 2 つある枠のうち、西側の枠の補修を行った。番



線を切って、傷んだ枠や丸太を取り除き、使えるものと使えないものにと仕分けした。以前に、杉林から運び出し「カブトムシの森」においてあった新しい丸太を下の方に置き、まだ見えそうな古い丸太は、次回に取り換えやすいように、一番上にのせるようにした。杭を打ち、丁寧に丸太の長さをそろえてのせていった。杭と杭を番線でしっかりと縛って丸太を固定し、頑丈な枠に仕上がった。このなかの完熟腐葉土は花のテラスの花壇に入れて空にし、落ち葉掻きのイベントに備える予定である。活動終了時間より

も早く終わったが、満足のいく活動だったので早めに切り上げることにした。

季節の移ろいを、リンドウの花やシイタケランドに上がり出したシイタケに感じながら、今日も楽しく活動できた。

## 11 月 9 日(木曜日) イベント「くぬぎ森づくり」の準備

【参加者：池本、梶川、木谷、越智宏、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中

10 名】

初めに、森林公園内で拾って、冷蔵庫に入れておいたクヌギのドングリを 3 個ずつ袋に詰めた。家でクヌギの苗を育ててもらうために、イベント当日参加者に渡すドングリである。

次に、植樹予定地の整備を行った。地面は固くて、笹の根も張っているため、苗が植えにくい地面だったので、植樹するところの土を耕しやわらかくした。その場所に印の竹を 20 本打ち込んだ。最後に、笹の茎が出ているところを綺麗に刈り、箒で履いて整備が完了した。

作業が終わった後、シイタケランドの様子を見に行った。先日雨が降ったこともあり、バケツ半分ぐらい収穫することができた。



## 11 月 12 日(木曜日) 「くぬぎの森づくり」開催

256 号に掲

載

## 11月16日(木曜日) モリメイト花壇の土づくり

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明

計9名】



6つあるモリメイト花壇の土は固く植物も育ちにくい土になってきていたので、冬に入るこの時期に土づくりからすることにした。

まず、カリンの枯れた枝を切り、落ちていた枝などを取り除いた。次に、植えてあった、スイセン

、ヒガンバナ、タイムを掘り起こし、ひとり生えして大きくなっていくグミを根こそぎ取り除き、土以外何も無い状態にした。(スイセンは4年で500個近くに、ヒガンバナは2年で100個近くに増えていた)そこに、ビートルズベッドから運んできた腐葉土と赤玉土を混ぜ込み、土を柔らかくしていった。植物が喜ぶいい土になったところで今日の作業を終えることにした。

## 11月23日(木曜日) スイセン、ヒガンバナ、タイム、セージを植える

【参加者;池本、越智宏、越智美、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

計11名】

先週掘り起こした、スイセン、ヒガンバナ、タイムを6つの花壇に均等に植えられるように分け、6か所に分かれて作業を行った。真ん中から購入したセージ、ヒガンバナ、スイセン、一番外側にタイムというように植えていった。たくさん余ったので、ヒガンバナは散策路の脇とカブト虫の森の木の下に植えた。スイセンは、バケツ一杯分も余ったので、来園者に持って帰ってもらうことにした。

3月には、スイセンが咲き、春の訪れを告げてくれるだろう。花壇にはいろいろな花を植えて、来園者に楽しんでもらいたいという思いはあるのだが、ほとんどシカに食べられてしまい、限られたものしか植えることができないのが残念である。



## 11月30日(木曜日) 落ち葉掻きの季節がやってきた

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、中、濱田

計10名】

前日の小雨で、落ち葉は少し濡れていたが、ビジターコテージ西側のクヌギ林から集めはじめた。その後、風のとりでに続く散策路、サギソウ園に続く散策路へと進めていった。竹熊手とブローアで落ち葉を集めて、スタンドバッグに詰めていった。軽トラ2台がフル回転。6回の運搬でビートルズベッド3分の2ほどたまった。

来週も続け、10日のイベントに備えることにする。

